



俳句

玉井北男 選

人過ぎてまた鳴き競う河鹿かな 渡部喜生  
 不揃ひの混じりて枇杷の甘さかな 三好清信  
 懐メロをふと口ずさむ梅雨晴間 森 隆子  
 登校の学童の列柿若葉 高橋 和  
 白魚の黒瞳清しく舞めける 大森妙子  
 庭の木々虎刈りにして夏の風 高塚啓子  
 紫陽花を咲かせお喋りよき仲間 三谷福美  
 朝顔の蔓に支柱をせがまるる 森本郁子

川柳

金子和孝 選

朝ご飯菜の花漬けで食進む 高塚フミ子  
 伊丹まで六甲越えた千の風 近藤美鶴  
 麦ご飯おごちそうだと孫が言う 高橋容子  
 少子化に功なさしめて孫九人 尾崎康博  
 父の日に立てる老後の羅針盤 三好清信  
 風太郎帰って来いよ夏燕 菅 正子  
 地震に雨肥後もつこすよくじけずに 高橋トシ子  
 錆びかけた脳を笑顔が吹き飛ばす 近藤忠夫

短歌

田坂幸 選

漱石と子規をテレビに聞きながら赤紫蘇もんで海漬け終へる 高橋トシ子  
 会へぬまま八十路迎へし今もなほ友住む松阪の地名なつかし 森 隆子  
 螢籠競ひて編みし友二人さらさら川の螢となりしか 森本郁子  
 友の居る特養ホーム歩みつつ私もいつかここへ来るのか 藤田ウメノ  
 車椅子に小さくなりしその母を押しゆく女性の後姿やさし 山本 昇  
 雨あがり太陽浴びてしっとり色きそひあふ紫陽花ロード 越智富美子  
 猪狩川の堤防切れてふためきつつ畳上げたる思ひ出のあり 矢葺喜司男  
 もう無理と言ひつつ隣の老夫婦の畑に勢ふ葱 眞鍋正利  
 茄子、胡瓜

俳句・川柳・短歌 作品募集

作品は、読みやすい書体で作成し、俳句・川柳・短歌の別を書き、漢字にはふりがなを振り、住所・氏名・電話番号を明記し、毎月1日までに郵送または提出してください。

応募先  
 〒793-8601 明屋敷164  
 西条市役所 広報広聴課 広報係  
 TEL 0897-52-1204 (直通)



Your Friendly Neighbors

世界のゆかいな仲間たち

No.115

第二の故郷西条市

私は、3年間西条市で国際交流員という仕事を務めてきましたが、今月をもちましてアメリカに帰国します。たくさんの人にお世話になり、祭りをはじめ西条市でいろいろな体験をする機会に恵まれました。西条市の人々に心から感謝を申し上げます。

3年の中でもっとも心に鮮明に残っていることは、子どもと交流した時の思い出です。

6月19日に、小松小学校のどろん子祭りに参加させていただきました。学校田の田植えをする前に、泥の中でリレーやサッカーをする楽しい行事です。小松小では、5年生がお米の田植えから収穫まで習います。アメリカ人にとって珍しくて有意義な教育です。

どろん子祭りで田んぼに入ると、泥で誰が誰かわか

今回のフレンド

ジョン・ウィラー

国際交流員 (写真はどろん子祭りのとき)



りにくくなり、協力の気持ちと競争心が生まれます。これは、国際交流の目標の一つに似ているのではないかと思います。この国で「日本人」と「外国人」の概念が薄くなって、自分のアイデンティティーを捨てずに、一つの新しいコミュニティになることを望んでいます。言葉の壁がハードルですが、越えられないことでもありません。世代から世代へ、教育の変化や滞在外国人の増加のおかげで意識が変わってきていて、この3年間に会った子どもがどのように世界を変えるかを楽しみにしています。

私は西条を離れますが、第二の故郷西条市に住んでいる皆さまの成功を心から応援しつづけます。